

「CANVAS」×「慶應KMD」プロデュース 世界最大のこども創作イベント

第9回ワークショップコレクション ～こどものためのワークショップ博覧会～

こどもたちの創造力・表現力を刺激する、よりすぐりの100ワークショップが慶應大に集合！
過去最大のワークショップ数と充実したスペシャルプログラムが目白押し！



特定非営利活動法人CANVAS、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科は、2013年3月9日(土)、10日(日)の2日間、慶應義塾大学日吉キャンパス(神奈川県横浜市)にて、全国のこども向けワークショップを一堂に集めた、“こどものためのワークショップ博覧会”、「第9回ワークショップコレクション」を開催いたします。

ワークショップコレクションは、体験を重視した新しい子どもたちの学びの場として注目される”ワークショップ”の全国普及と発展を目的として、2004年から毎年開催しております。年々、出展ワークショップ数、来場者数が増加し、ワークショップに対する関心の益々の高まりを感じております。前回の「第8回ワークショップコレクション」では、2日間で74,000人の方にご来場頂き、大変な賑わいとなりました。

今回はこどもたちの創造力、表現力を刺激する過去最多約100ワークショップが全国から集い、未就学児から小学生、大人がまる1日楽しめる濃厚なプログラムをご用意しております。吉本興業の人気パパ芸人が繰り広げる「伝統」をテーマにしたスペシャルワークショップ、近年大きな注目を集める「ゆるキャラ」をテーマにした「キッズゆるキャラコレクション」に加え、こどもたちのためのデジタル表現である「デジタルえほん」の世界で初めての国際的なブックフェア「国際デジタルえほんフェア ～Digital Children's Book Fair～」およびモノづくりや理科・科学の楽しさをこどもたちに伝える「モノづくり体感スタジアム」、海外のキッズクリエイティブ活動の実践者を招きこどもたちのクリエイティブ教育について大人が議論を深める「キッズクリエイティブサミット」を併催するなど、こどもたちのクリエイティブ活動のさらなる広がりを期待した企画が盛りだくさんとなっております。

ご多用のこととは存じますが、ぜひ貴社媒体を通じての開催告知及び当日の御取材を賜りたく、ご検討のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

開催概要

- 【名称】 第9回ワークショップコレクション
【日時】 2013年3月9日(土) 11:00~17:00、3月10日(日)10:00~17:00
【会場】 慶應義塾大学日吉キャンパス 第4校舎独立館 および 第4校舎A棟
(神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1)
【主催】 特定非営利活動法人CANVAS、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
【特別協賛】 モノづくり日本会議/日刊工業新聞社
【協賛】 安心ネットづくり促進協議会、ドットDNP
【後援】 文部科学省、経済産業省、総務省、内閣府、神奈川県教育委員会、
横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、東京急行電鉄株式会社、
一般社団法人融合研究所

【メディアパートナー】

朝日新聞社、育G新聞、ecocolo、グリーン株式会社、こどもMOE、産経新聞社 トモイク、小学館edu、株式会社
ディー・エヌ・エー、TBSブーブ★キッズ、東急沿線情報サイト とくらく、TOKYO FM、日刊工業新聞社、株式
会社ぱど、株式会社フジテレビジョン、プレジデントファミリークラブ、Yahoo!きっず、リセマム

- 【来場者数】 74,000人(見込)
【参加費】 無料(一部のワークショップ参加には材料費がかかります)
【対象】 ① ワークショップに参加希望のこども(未就学児~大人まで)
② こども向けワークショップの開催に関心のある方
教育関係者、行政関係者、大学関係者、ミュージアム関係者、企業関係者、
アーティスト、ファシリテーター、各種NPO法人・団体、など

プログラム

約100コのワークショッププログラム

会場の慶應義塾大学をうめつくすのは、造形、絵画・イラスト、サイエンス、電子工作、音楽、
身体表現、ゲーム・クイズ、映像、環境・自然などデジタル/アナログ問わず様々なジャン
ルのワークショップ。第9回ワークショップコレクションには、全国からよりすぐりの過去最多
100プログラムが集まり、こどもたちの感性を刺激します。



造形



絵画・イラスト



サイエンス



電子工作



音楽



身体表現



ゲーム・クイズ



映像



環境・自然



デジタル

【ワークショップ出展者】

全国の学校、大学の研究室、企業、ミュージアム、研究者・技術者、アーティスト、アトリエ
など産学官様々なワークショップ出展者が参加しています。

【対象年齢】

未就学児から小学生、大人まで幅広い年齢を対象としたプログラムがございます。
※親子参加プログラムも多数

スペシャルプログラム

よしもとキッズ「でんとうを感じる」ワークショップツアー

特定非営利活動法人CANVASと吉本興業「PaPaPark!」が展開する「おもしろかし子」プロジェクトのプロデュースによるスペシャルワークショップです。人気パパ芸人といっしょに子どもたちが日本の「でんとう」を感じる3種のワークショップツアーに出かけます。茶道の「遠州流」、かまぼこの「鈴廣」、伝統を次世代につなぐ「和える」の3ワークショップをめぐる。 ※3/9(土)、3/10(日) 両日実施。事前予約制。

【協力】 遠州流茶道／鈴廣かまぼこ／和える



【参加芸人(予定)】 ※参加芸人が変更になる場合がございます。

ワッキー(ペナルティ)、くまだまさし、トータルテンボス、イシバシハザマ、2700、ボーイフレンド、デニス

スペシャルプログラム

キッズゆるキャラ®コレクション

全国で活躍するかわいい「ゆるキャラ」がワークショップコレクションにやってくる！会場の中に紛れたゆるキャラを探そう！子どもたちがオリジナルのゆるキャラをつくるワークショップ(事前予約制)やテレビ画面でキャラクターにへんしんするデジタルサイネージなどのスペシャル企画も実施予定です。

※参加キャラクターはホームページで発表

※3/9(土)、3/10(日) 両日実施。一部事前予約制。

キッズ
“ゆるキャラ”
コレクション





世界初の「デジタルえほん」が集まるブックフェアをワークショップコレクション会場内にて開催します。こどもたちに夢を与え、想像力を喚起し、現実の世界をより豊かにさせるデジタル表現である「デジタルえほん」が集結するブックフェアです。海外からも多数の作品が参加予定。どなたでもご自由にご見学可能です。

【主催】 国際デジタルえほんフェア実行委員会

国際デジタルえほんフェア スペシャルワークショップ

presented by ドットDNP+デジタルえほん

「国際デジタルえほんフェア」開催に合わせて、ドットDNPと株式会社デジタルえほんの提供によるスペシャルワークショップを実施いたします。

※3/9(土)、3/10(日) 両日実施。一部事前予約制。



1) 季里 さん 「tap*rapへんしんコマドリアニメーション」

2012年度グッドデザイン賞&キッズデザイン賞ダブル受賞、大人気デジタルえほん「tap*rapへんしん」を楽しむアニメ制作ワークショップです。

講師： 季里 (ビジュアル・プロデューサー/デジタルアーティスト/女子美術大学教授)



2) 山本二三 さん 「みんなで雲をえがこう」

「天空の城ラピュタ」「もののけ姫」「時をかける少女」等の美術監督として背景画を手がけた山本二三さんによるワークショップです。

講師： 山本二三 (アニメーション映画 美術監督)



3) きむらゆういち さん 「しかけえほんをつくろう」

「あらしのよるに」「あかちゃんのおそびえほん」など500冊以上の有名絵本を生み出した、絵本作家きむらゆういちさんによるワークショップです。

講師： きむらゆういち (絵本作家)



4) AR魔法のえほん「ピーターパン」展示

東京・市ヶ谷に新たにオープンしたコミュニケーションプラザ「ドットDNP」内「デジタルえほんミュージアム」に展示中の注目コンテンツ「AR魔法のえほん・ピーターパン」を特別展示いたします。



Kids Workshop Award (キッズワークショップアワード)

「第9回ワークショップコレクション」への出展ワークショップを対象に、こどもたちの創造力・表現力を刺激する、独自性のある優れたワークショップを審査員が選出し、表彰する「第4回キッズワークショップアワード」を実施いたします。

Kids Workshop Award

【審査員】

季 里 (ビジュアル・プロデューサー／デジタルアーティスト／女子美術大学教授)
土屋 敏男 (日本テレビ放送網株式会社編成局専門局長 兼 LIFE VIDEO株式会社代表取締役ディレクター)
中村 伊知哉 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)
中谷 日出 (NHK解説委員 / デジスタ・ナビゲーター)
柳澤 大輔 (面白法人カヤック代表取締役CEO)
石戸 奈々子 (ワークショップコレクション実行委員長)

「デジタルえほんアワード」表彰式&作品展示

こどもたちがワクワクする新しいデジタル表現手法である「デジタルえほん」の開拓と発展を目的に開催されている「第2回デジタルえほんアワード」の受賞作品を発表・表彰する表彰式をイベント会場内で実施します。

※3/9(土)のみ実施。

【公式サイト】 <http://www.digitalehonaward.net/>

【主催】 NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん

【審査員】

いしかわこうじ (絵本作家)
角川歴彦 (株式会社角川グループホールディングス取締役会長)
香山リカ (精神科医・立教大学教授)
きむらゆういち (絵本作家)
小林登 (東京大学名誉教授・国立小児病院名誉院長)
杉山知之 (デジタルハリウッド大学学長)
水口哲也 (クリエイター・プロデューサー)
茂木健一郎 (脳科学者、ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー、慶應義塾大学特任教授)

デジタル えほん アワード

モノづくり体感スタジアム

「モノづくり体感スタジアム」はモノづくりや理科・科学の楽しさを子どもたちに伝える、企業ワークショップの集まりです。モノづくりの楽しさや現在・未来の技術を体感することで、創造性や表現力、将来の日本を思い描くチカラを身につける機会を提供します。

※3/9(土)、3/10(日) 両日実施。一部事前予約制。

【公式サイト】 <http://mono-stu.jp/>

【主催】 日刊工業新聞社／モノづくり日本会議



モノづくり 体感スタジアム

Kids Creative Summit (キッズクリエイティブサミット)

こどもたちの創造と表現の場を広げ発展させることを目的に、海外のキッズクリエイティブ活動の実践者をお招きして大人が議論を深めるためのサミットを開催いたします。
※3/10(日)のみ実施。事前予約制。

【講演者】

シェリー・ゴールドマン (スタンフォード大学教授)

【パネリスト】

稲蔭正彦 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科委員長兼教授)

中村 伊知哉 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)

主催団体について



特定非営利活動法人CANVAS

CANVASは、こどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として、2002年11月に設立されたNPO法人です。こどもたちの一人ひとりの創造力と表現力を高めるクリエイティブ活動のプラットフォームとして、様々なこども向けワークショップの企画・開発やキッズ企画プロデュース、教材開発、空間プロデュース、デジタルコンテンツ開発など様々な活動を行っています。過去10年間で約210,000人のこどもたちに、約2000回のワークショップ・イベントを届けてきました。

URL: <http://www.canvas.ws>



KEIO MEDIA DESIGN.

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

2008年に創立150年を迎える慶應義塾の記念事業の一環として、2008年4月に開設された大学院。デザイン、テクノロジー、マネジメント、ポリシーの4つの力(創造性)を調和・統合し、新しい知や表現の創造活動を実践するのみならず、その成果の価値化をプロデュースし、世界の産業界およびわが国の将来に貢献できる創造リーダーである「メディア・イノベータ」を育成します。

URL: <http://www.kmd.keio.ac.jp/>

本件に関するお問合せ先

“ワークショップコレクション”運営事務局(特定非営利活動法人CANVAS内) 担当: 小林

TEL: 03-6456-1929 FAX: 03-6456-1926 電子メール: press@canvas.ws

公式サイト <http://www.wsc.or.jp>